

取手第二中学校の合言葉

「みんなの笑顔のために」

取手第二中学校長 丸山信彦

日本の子どもたちの現状

OECD生徒の学習到達度調査「PISA（ピサ）」



世界の15歳が対象

日本の「中学3年生」



世界規模の調査

3年に1度、順位を発表



実生活で使える力

暗記ではない「活用力」

測る3つの分野

数学的リテラシー

読解力

科学的リテラシー

PISA2025 OECD加盟国(38か国) ランキング

日本の中学3年生は、3分野とも
(数学的リテラシー、読解力、科学的リテラシー)
世界的にトップの学力であったが...

※著作権上、当日使用したスライドはHPではお見せできません

若者の「国や社会に対する意識」

- ・自分を大人だと思う
- ・自分は責任がある社会の一員だと思う
- ・将来の夢をもっている
- ・自分で国や社会を変えられると思う
- ・自分の国に解決したい社会課題がある
- ・社会課題について家族や友人など周りの人と積極的に議論している

日本の18歳は、上記の全ての項目に関して
主要国の中で圧倒的に最下位

日本財団「18歳意識調査」から2019.11

低い「国や社会への関心」

※著作権上、当日使用したスライドはHPではお見せできません

若者の「国や社会に対する意識」

- ・国や社会に役立つことをしたいと思う
- ・自分は責任がある 社会の一員だと思う
- ・ボランティア活動に参加したい
- ・慈善活動のために 寄付をしたい
- ・自分は大人だと思う
- ・自分の行動で、国や社会を 変えられると思う

日本の18歳は、差は縮まったが、上記の全ての項目に関して
主要国の中で最下位

日本財団「18歳意識調査」から2024.4

自分事として考えることの欠如

※著作権上、当日使用したスライドはHPではお見せできません

「自分自身に満足している」

(a) 諸外国比較 2023年11～12月調査・満13～29歳

日本57.4%、アメリカ73.2%、ドイツ74.0%、
フランス75.7%、スウェーデン72.3%

圧倒的に日本の子どもたちは低い

こども家庭庁「我が国と諸外国のこどもと若者の意識に関する調査」(令和5年度)から

低い「自己肯定感」

※著作権上、当日使用したスライドはHPではお見せできません

日本

総合順位	子どもの幸福度
● 17	/ 37か国

分野別順位		
精神的幸福度	身体的健康	スキル
● 32	● 3	● 12

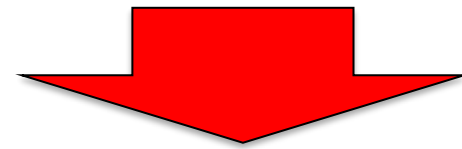
低い「心の幸福度」

※著作権上、当日使用したスライドはHPではお見せできません

日本の子どもたちの現状

学力は世界的にトップ

だけど...



自分事として考えることの欠如

低い「国や社会への関心」

低い「自己肯定感」

低い「心の幸福度」

みんなはどう考える？



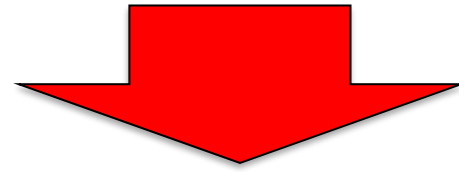
いまが楽しければいい？



自分が幸せであればいい？



取手二中の先生たちの願い



取手二中の子どもたちが

- いまを幸せに楽しく生きてほしい
- 10年後、20年後、30年後に自立した一人の人間として幸せな人生を歩んでほしい



世界や国、社会は
みんなの力で変えられる

まずは

自分の周りの世界から
もっとよくなるように
変えていこう

みんなの笑顔のために

みんなの笑顔のために

取手二中のみんなの誓い

考えて、考えて、
考え抜くこと

レジリエンス(折れない力)
を身に付けること



1 何事も自分事として考える



2 考えることが思いやりにつながる



1 人は誰でも失敗する。過去の失敗を成功に変える力を

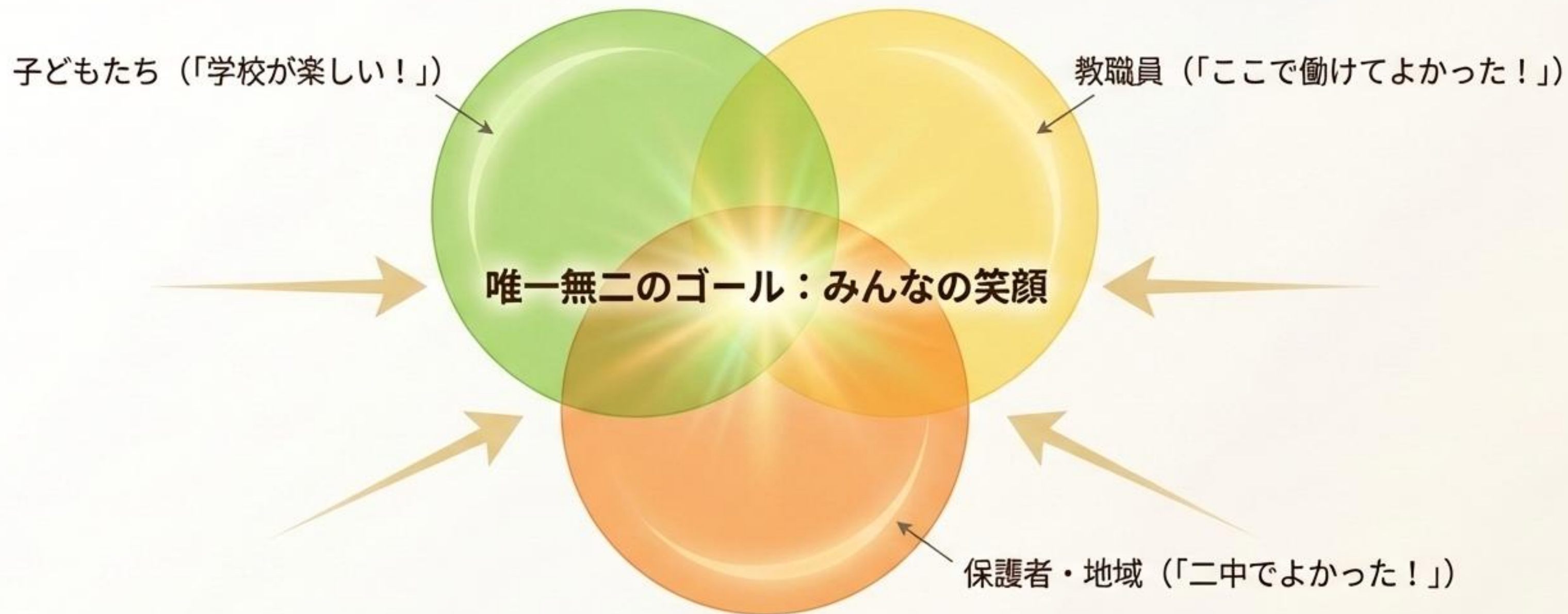


2 何度もチャレンジして、そのたびに成長して、立ち上がる力を



取手二中に関わるすべての人を幸せに

「取手二中に関わるすべての人に幸せになってほしい」



「みんなの笑顔」が最終的に自分自身の幸せにつながります。

みんなの笑顔のために

- ・考えて、考えて、考え抜く力
- ・レジリエンス(折れない心)

みんなで笑顔あふれる学校を一緒に創っていきましょう！